

“新商品・サービスを開発したい”を支援する 「福商クラウドファンディング」サービス

当所は、With/Afterコロナ的环境下で、新たな市場開拓、業態転換等に取り組み、巻き返しを図る中小・小規模事業者を支援するため、令和4年2月から、「福商クラウドファンディング」をスタートしました。

本事業は、株式会社マクアケ（代表取締役社長：中山亮太郎、以下「マクアケ社」）および、株式会社 CAMPFIRE（代表取締役社長 CEO：家入一真、以下「CAMPFIRE 社」）と業務提携契約を締結し、各社が運営するプラットフォームの特性を活かし、事業者の新たな取り組みや新商品の開発を支援するものです。

今回の特集では、本事業の内容や利用方法、支援事例についてご紹介します。

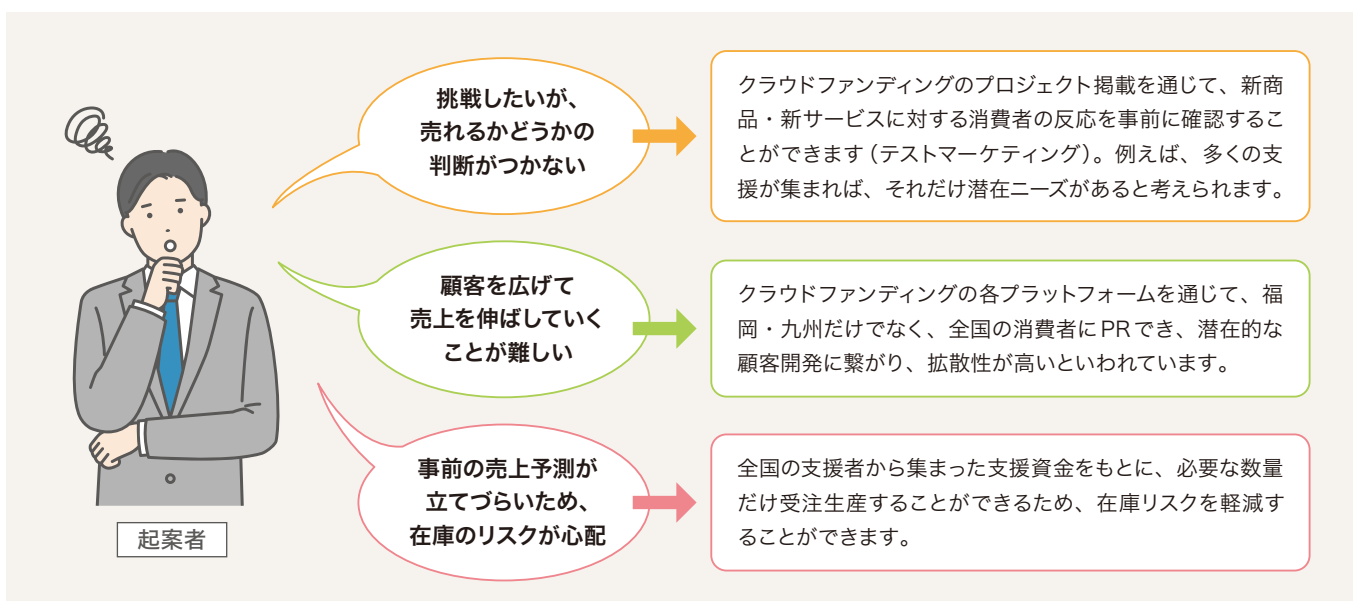
クラウドファンディングとは？

クラウドファンディング (Crowdfunding) とは、Crowd（群集）とFunding（資金調達）を組み合わせた造語で、人々から広く資金を募るという意味です。インターネットサイトを通して「こんなモノやサービスを作りたい」、「社会の課題を解決したい」といったアイデアを持つ方（以下、起案者）が発信し、起案者に共感した人々（以下、支援者）から

資金を募る仕組みとして、2000年からアメリカを中心に広がりました。日本では、2011年の東日本大震災の際に、復興支援を目的とした寄付に使用されたことや、2014年の金融商品取引法改正などをきっかけに市場が拡大していきました。経営者にとっては、新たな資金調達のツールとして注目を集めています。

■ 活用のメリット

例えば、新商品・新サービスの開発のこんな場面で活用できます。



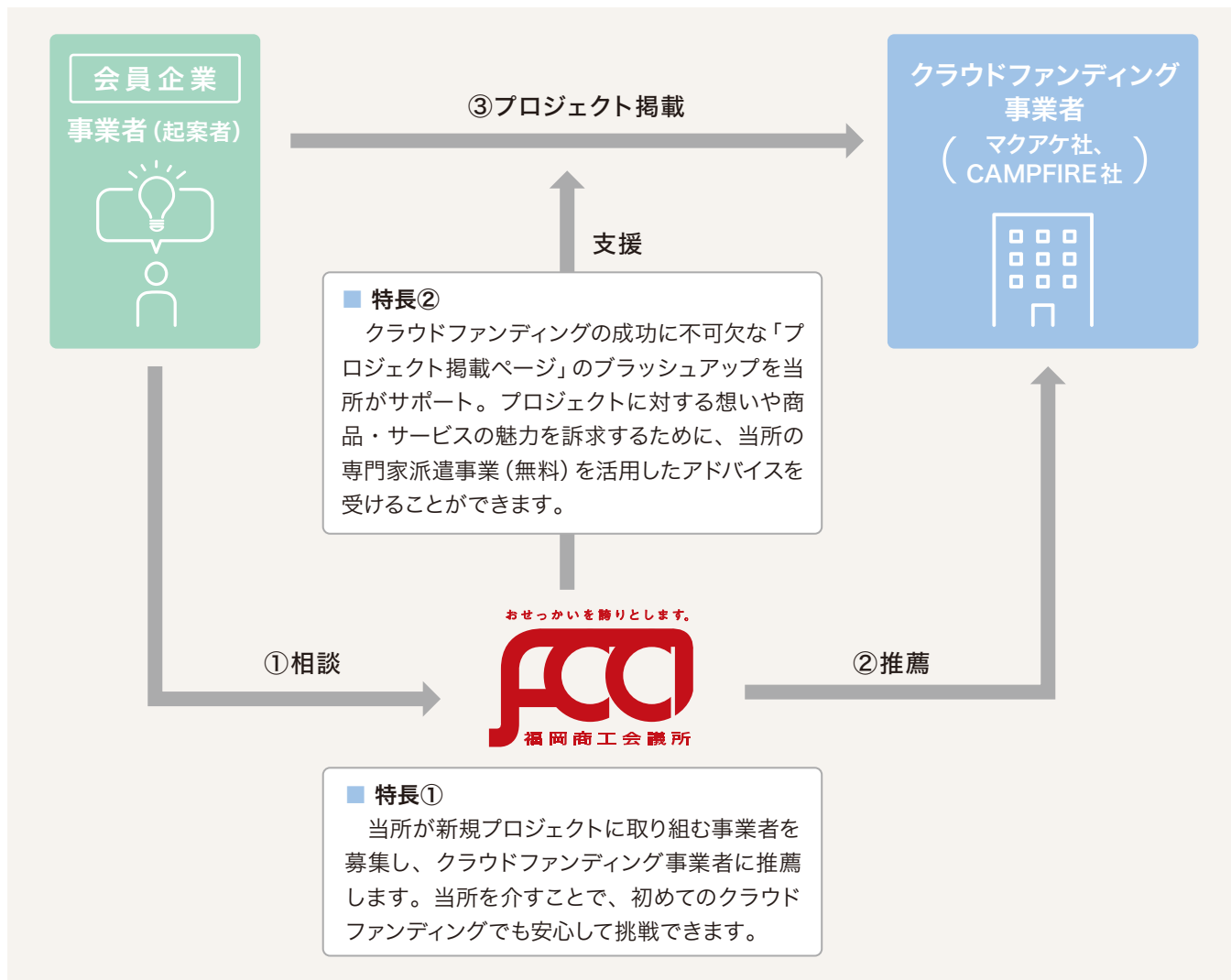
また、**支援者**にとっては「少額からの支援が可能」、「他のユーザーよりもいち早く商品を購入、サービスを体験できる」などのメリットがあげられます。

「福商クラウドファンディング」事業

本事業は、新しい商品・サービスの開発に必要な資金調達やテストマーケティングでクラウドファンディングを活用

したい事業者に対し、起案内容のブラッシュアップ等の支援を行なうものです。当事業ならではの特徴は大きく2つです。

<本事業のイメージ図>



登録専門家(ライター)の例



戸田 千文(とだ ちふみ)

- 2008年4月1日 広島 of 広告会社勤務
- 2011年2月1日 出版社の編集部勤務
- 2013年6月1日 フリー編集ライターとして独立

広告会社、出版社の編集部を経て、紙・WEBメディアの記事執筆・編集業務をお引き受けしています。パンフレットや社内報の制作やWEBサイトの運営・更新、企業ブランディングのための書籍・レシピ本の制作など、記事の執筆や制作物にお悩みの方はお気軽にご相談ください。文章がうまく書けなくて、商品のPRに困っているときもおまかせを。お話を伺いして、会社や商品のストーリーを多くの方にお伝えするお手伝いができればうれしいです。

福商クラウドファンディングの支援事例

当所とマクアケ社は業務提携前の令和3年9月、当所の経営相談窓口で販路拡大の支援を行なっている「Sweets House You+」さんとテストプロジェクトに取り組みました。

■ プロジェクト名

【みかんに恋したオーナーより】故郷、山口県萩市の夏みかんを全国へ届けたい！

■ プロジェクトの経緯

山口県萩市で生まれ育ち、食後のデザートによくおばあちゃんが剥いてくれて食べた思い出の果物、“夏みかん”。そんな当たり前に食べて育った“夏みかん”が、いざ萩を離れ福岡に来てみると全然知られていなくて驚きました。

お菓子作りを学ぶ中で、「いつか自分がお店を持ったら必ず地元萩の夏みかんを使ったお菓子を作りたい！」と思うようになり、早10年。山口県萩市のみかん農家である、(有)たけなかの竹中社長ご協力の元、ようやく完成したのが、この『ウィークエンド萩夏みかん』（パウンドケーキ）です。

「一週間おつかれ様」と、家族で週末に食べて欲しい、そんな想いで、たくさんの愛情込めてお作りしました。老若男女食べていただける、優しく香り豊かな味わいの一品です。この『ウィークエンド萩夏みかん』を一人でも多くの方に食べて欲しい。そして、明治時代、萩の財政を支えた“萩夏みかん”の美味しさを知って欲しい。また萩夏みかんが沢山作られて、街中が爽やかな香りで覆われて欲しい。そんな思いで、本プロジェクトに挑戦しました。

僕たちが作るお菓子を全国の皆様に食べていただきたい、一人でも多くの方々に届け、一つでも多くの場面に笑顔溢れるように、集まった資金で、オンラインショップの立ち上げ準備を行っています。

■ 支援の概要

本プロジェクトの支援をするにあたり、当所の経営指導員が類似プロジェクトの成功事例について五島さんに情報提供しました。プロジェクトの内容を固めていく上で、五島さんが大切にしている「萩の夏みかん」の魅力や想いが伝わるような構成となるようにアドバイスしました。

プロジェクトの結果は、目標金額の117%の資金調達に成功しました。『ウィークエンド萩夏みかん』は店頭でも好評で、定番商品化も果たしました。

■ 五島さんからのひと言

福岡商工会議所の方をはじめ、多くの方に応援していただき、目標達成することができました。本当にありがとうございます。今後も、販路拡大のため商談会などを利用していきたいと思います。

これからもスタッフ一同美味しいお菓子作りに日々精進いたします！



本プロジェクト成功のポイント

ご自身が持つネットワークの活用やお店の顧客に対するSNSでの周知により、初日から応援購入総額30%を超えるスタートダッシュが切れたため。

※24時間以内に目標金額の30%以上を調達したプロジェクトの成功率は大きく高まる傾向があります。初日に応援購入総額が伸びているプロジェクトは、メディアやSNSでの投稿と相乗効果で伸びやすくなるためです。

<店舗概要>

店舗名：Sweets House You+
事業：ケーキ等の製造販売
代表者：五島 誠治
所在地：福岡市博多区銀天町1丁目2-5
電話：092-593-8201

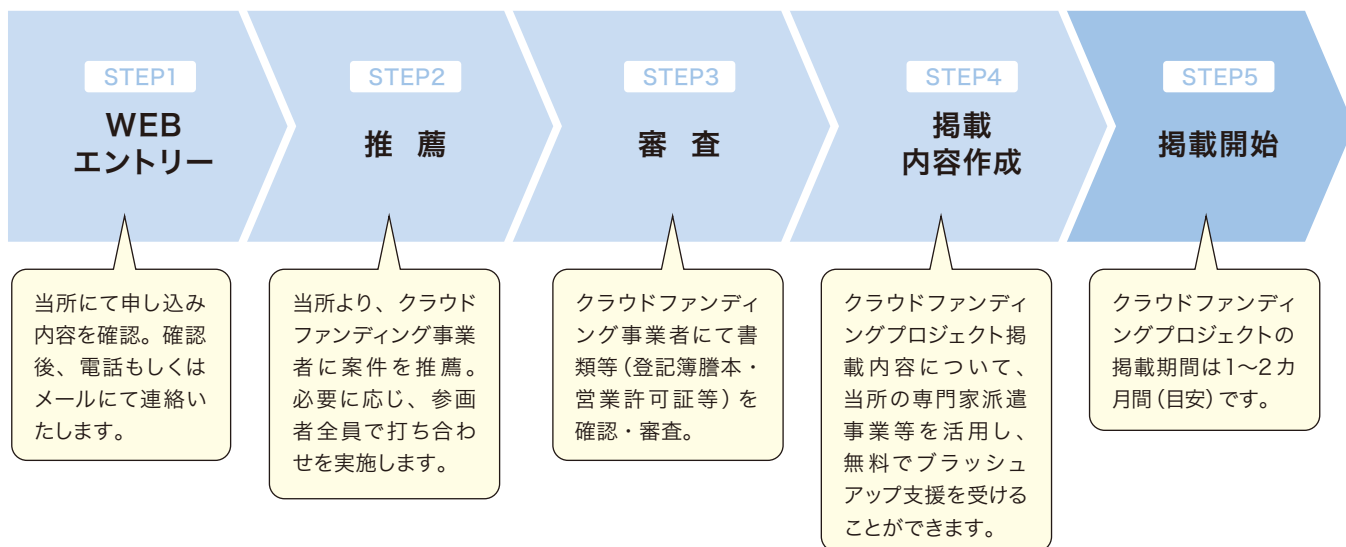
「福商クラウドファンディング」支援事業の利用方法

■ 募集要項

対象案件	以下3点を全て満たすものが対象です。 1. 福岡商工会議所の会員企業の案件であること。 2. 当所の商談会への参加や補助金の作成支援等の実績がある案件であること。 3. 販売・提供前の新商品・新サービスの案件であること。
募集時期	随時 ※対象の条件を満たす場合でも内容によってはご利用いただけない場合があります。
手数料	手数料＝支援総額（集まった金額）× 手数料率（マクアケ20% CAMPFIRE17%） [例] クラウドファンディングによる支援総額100万円 × 手数料率20% = 手数料20万円
申込方法	当所WEBサイトよりエントリーをお願いします。 URL：https://www.fukunet.or.jp/businesschance/cf/



■ 利用の流れ



▶当所ホームページでは、「福商クラウドファンディング」のプロジェクトを掲載しています。プロジェクトを支援・応援したい方や興味・関心がある方は、ぜひご覧ください。



■ 当所HPでのプロジェクト紹介ページ



提携先(クラウドファンディング事業者)の紹介



■ 会社概要

会社名：株式会社マクアケ
代表者：代表取締役社長 中山 亮太郎
本社所在地：〒150-0002 東京都渋谷区渋谷2-16-1
Daiwa渋谷宮益坂ビル 10F
事業内容：「Makuake」を中心とした各種支援サービスの運営、研究開発技術を活かした製品プロデュース支援事業
URL：https://www.makuake.co.jp/

■ サービス概要

『アタラシイものや体験の応援購入サービス「Makuake(マクアケ)」』
「Makuake」は、「生まれるべきものが生まれ 広がるべきものが広がるべきものが残る世界の実現」をビジョンに掲げる、アタラシイものや体験の応援購入サービスです。全国100社以上の金融機関との連携により日本各地の事業者が活用しているほか、国内外の流通パートナーとも連携し、プロジェクト終了後も事業が広がるよう支援しています。また、プラットフォームとしてプロジェクト実行者とサポーター双方の利便性と満足度向上を目指し、プロダクトの改善や新機能の開発に注力しています。

URL：https://www.makuake.com/



■ 会社概要

会社名：株式会社CAMPFIRE
代表者：代表取締役社長 CEO 家入 一真
本社所在地：〒150-0002 東京都渋谷区渋谷2-22-3
渋谷東口ビル 5F
事業内容：クラウドファンディング事業の企画・開発・運営
URL：https://campfire.co.jp/

■ サービス概要

『国内最大のクラウドファンディング「CAMPFIRE(キャンプファイヤー)」』
あらゆるファイナンスニーズに応えるべく、「資金調達の民主化」をミッションに、個人やクリエイター、企業、NPO、大学、地方自治体など、様々な挑戦を後押ししております。国内最大のクラウドファンディング「CAMPFIRE」は、2011年のサービス開始から現在までに6.0万件以上のプロジェクトを掲載し、支援者数は延べ670万人以上、流通金額は540億円に達しました。一人でも多く1円でも多く、想いとお金が増える世界を目指して、CAMPFIRE経済圏をつくってまいります。

URL：https://camp-fire.jp/